

令和5年度

事業報告書

学校法人 足立学園

目 次

1. 法人の概要

(1) 建学の精神	1
(2) 設置する学校・学部・学科等	1
(3) 沿革	2～3
(4) 組織図	4
(5) 設置学校の収容定員・学生数等	5
(6) 役員・教職員等	6

2. 事業の概要

(1) 愛知文教大学	7～12
(2) 愛知文教女子短期大学	13～16

3. 財務の概要

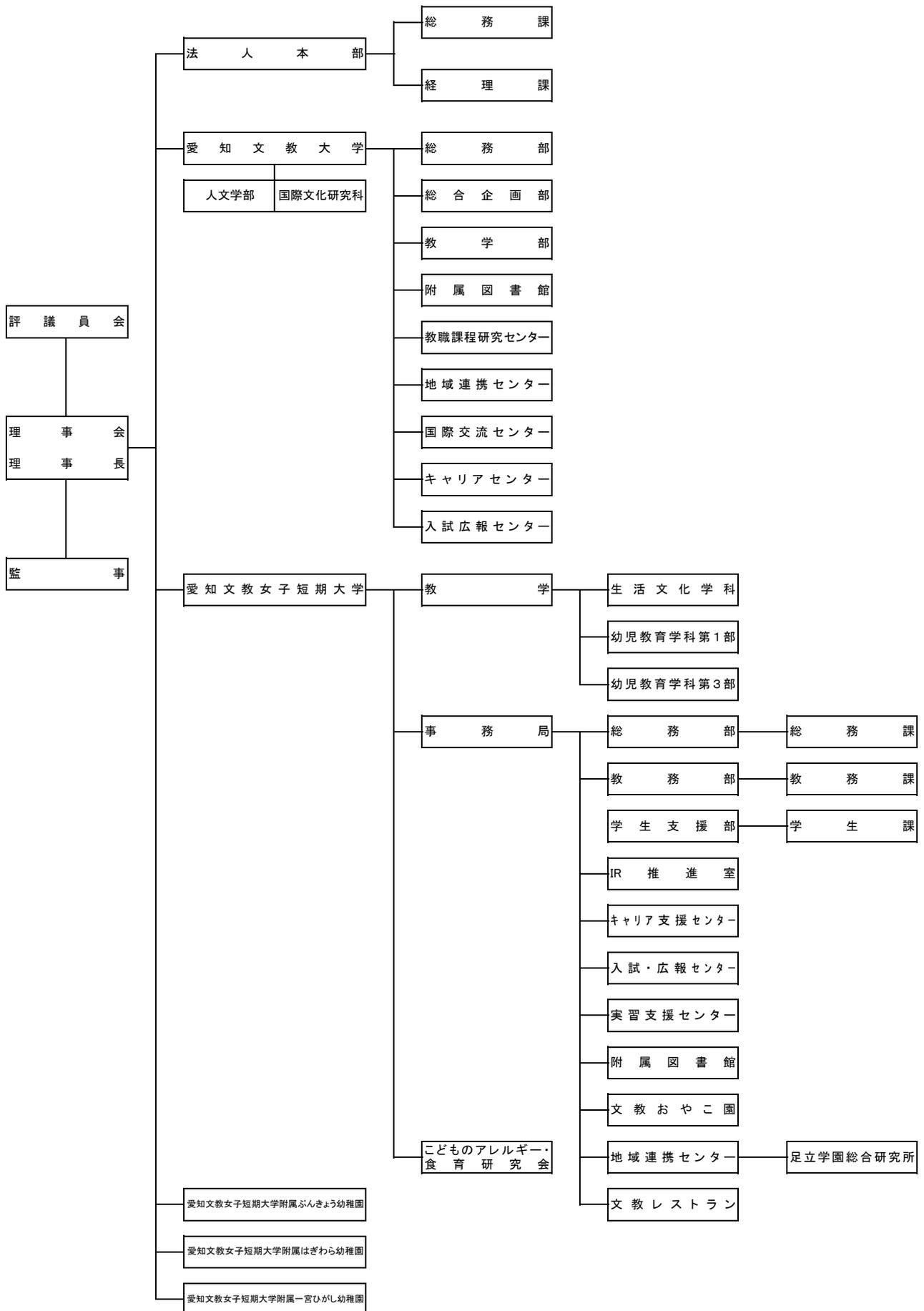
(1) 資金収支計算書の推移	17
(2) 活動区分資金収支計算書の推移	18
(3) 事業活動収支計算書の推移	19
(4) 貸借対照表の推移	20
(5) 令和4年度事業活動収入及び支出の構成比	21
(6) 主な財務比率の推移	22
(7) その他 財務諸表の説明等	23

(3) 沿革

昭和 26 年 3 月	稲沢女子短期大学設置認可 家政科第 1 部設置認可
昭和 27 年 2 月	稲沢女子短期大学家政科第 2 部設置認可
昭和 31 年 2 月	稲沢女子短期大学附属第 1 幼稚園設置認可
昭和 32 年 4 月	稲沢女子短期大学家政学科第 1 部、栄養士養成施設として指定
昭和 38 年 3 月	稲沢女子短期大学生活デザイン科設置認可
昭和 41 年 1 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 1 部設置認可
昭和 41 年 2 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 1 部保育養成施設として指定
昭和 42 年 3 月	稲沢女子短期大学附属萩原幼稚園設置認可
昭和 44 年 2 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 3 部設置認可
昭和 47 年 2 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 3 部保育養成施設として指定
昭和 47 年 3 月	稲沢女子短期大学生活デザイン科をデザイン美術科に名称変更
昭和 50 年 3 月	稲沢女子短期大学附属一宮東幼稚園設置認可
昭和 58 年 4 月	稲沢女子短期大学本館竣工記念式典挙行
昭和 60 年 11 月	稲沢女子短期大学 2 号館竣工記念式典挙行
平成 2 年 3 月	稲沢女子短期大学家政科を生活文化学科に名称変更 生活文化学科第 1 部は食物栄養専攻と生活文化専攻に専攻分離
平成 5 年 4 月	稲沢女子短期大学を愛知文教女子短期大学に名称変更 附属幼稚園もそれぞれ愛知文教女子短期大学附属第 1 幼稚園、萩原幼稚園、一宮東幼稚園に名称変更 愛知文教女子短期大学 3 号館竣工記念式典挙行
平成 8 年 3 月	専攻科介護福祉専攻設置認可
平成 9 年 12 月	愛知文教大学設置認可

平成 13 年 5 月	愛知文教女子短期大学創立 50 周年記念式典挙行
平成 14 年 12 月	愛知文教大学大学院設置認可
平成 15 年 4 月	愛知文教大学大学院国際文化研究科修士課程設置
平成 15 年 4 月	愛知文教女子短期大学デザイン美術科をデザインアート学科に名称変更
平成 16 年 11 月	愛知文教大学大学院博士後期課程設置認可
平成 17 年 3 月	愛知文教女子短期大学生生活文化学科 第 1 部 食物栄養専攻 栄養教諭免許課程 認定
平成 18 年 4 月	愛知文教女子短期大学デザインアート学科募集停止
平成 19 年 8 月	生活文化学科 第 1 部 「特色ある大学教育支援プログラム」文部科学省 採択
平成 22 年 4 月	愛知文教女子短期大学生生活文化学科第 1 部を生活文化学科に名称変更
平成 22 年 4 月	愛知文教大学国際文化学部国際文化学科を人文学部人文学科に改組
平成 23 年 11 月	愛知文教女子短期大学創立 60 周年記念式典
平成 24 年 4 月	愛知文教大学大学院博士後期課程募集停止
平成 24 年 10 月	足立学園総合研究所設立
平成 27 年 3 月	専攻科介護福祉専攻廃止
平成 28 年 4 月	愛知文教女子短期大学生生活文化学科生活文化専攻 情報ビジネスコースを新設
平成 28 年 6 月	文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業に採択
平成 28 年 11 月	文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に選定
令和 3 年 7 月	愛知文教女子短期大学創立 70 周年
令和 5 年 4 月	愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園を愛知文教女子短期大学附属ぶんきょう幼稚園に、愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園を愛知文教女子短期大学附属はぎわら幼稚園に、愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園を愛知文教女子短期大学附属一宮ひがし幼稚園に名称変更

(4) 学校法人足立学園組織図（令和5年度）



(5) 設置学校の収容定員・学生数等の状況

2023年5月1日現在

学校名	学部・学科名	入学定員	入学者数	編入学定員	編入学者数	収容定員	現員
愛知文教大学	人文学部	110	58	15	4	470	317
	大学院修士課程	8	2	-	-	16	7
	小計	118	60	15	4	486	324
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	70	21	-	-	140	79
	幼児教育学科第1部	80	28	-	-	160	58
	幼児教育学科第3部	70	39	-	-	210	170
	小計	220	88	0	0	510	307
園名						収容定員	現員
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園		-	-	-	-	360	248
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園		-	-	-	-	270	183
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園		-	-	-	-	207	167
計		338	148	15	4	1,833	1,229

2024年5月1日現在

学校名	学部・学科名	入学定員	入学者数	編入学定員	編入学者数	収容定員	現員
愛知文教大学	人文学部	110	66	15	4	470	252
	大学院修士課程	8	3	-	-	16	7
	小計	118	69	15	4	486	259
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	70	27	-	-	140	47
	幼児教育学科第1部	50	11	-	-	130	38
	幼児教育学科第3部	70	46	-	-	210	142
	小計	190	84	0	0	480	227
園名						収容定員	現員
愛知文教女子短期大学附属ぶんきょう幼稚園		-	-	-	-	360	240
愛知文教女子短期大学附属はぎわら幼稚園		-	-	-	-	270	180
愛知文教女子短期大学附属一宮ひがし幼稚園		-	-	-	-	207	154
計		308	153	15	4	1,803	1,060

(6) 役員等の状況 (2024年3月31日現在)

①役員

理事	定数	現員
	7名	7名

理事長	足立 誠	
理事	富田 健弘	愛知文教大学学長、愛知文教女子短期大学学長
理事	星野 秀樹	愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園園長
理事	鈴木 雅之	法人本部長・財務担当
理事(学外)	土川 清治	
理事(学外)	林 茂夫	
理事(学外)	竹田 益久	

監事	定数	現員
	2名	2名

監事	加藤 愛一郎	
監事	戸松 卓治	

②評議員

評議員	定数	現員
	15名～21名	15名

足立 誠	富田 健弘	足立 諭	稲垣 正義	足立 正和
立川 雄子	安井 映理子	鈴木 雅之	土川 清治	林 茂夫
谷淵 淳子	猪子 雅王	塚本 壽男	横山 晴一	竹田 益久

(7)教職員の状況 (2023年5月1日現在)

学校名	本務教員	本務職員	計
法人	0	4	4
愛知文教大学	21	18	39
愛知文教女子短期大学	28	18	46
第一幼稚園	15	2	17
萩原幼稚園	11	2	13
一宮東幼稚園	10	1	11
合計	85	45	130

2. 事業の概要

(1) 令和5年度 愛知文教大学事業報告書

1. 教育研究活動

(1) 研究発表

本学は教育研究の柱を「アカデミアゼミ教育」と「卒業研究」としている。3、4年生全員に研究発表を課している。1、2年生は発表見学者として参加させた。また2年生は3年次の希望ゼミを選択する場とした。2023年は12月12日（火）に4年ぶりの対面発表として実施した。今年度から発表の中心を4年生とし、今後学内学会「国際文化学会」に繋げる予定である。発表日は授業日とせず自由参加とした。集客目的に午後の時間を大学祭とした。

(2) アジア語学研修（2023年度）

- ①フィリッピン英語研修 11月19日（日）から12月2日（土）（参加者30名）
- ②台湾中国語研修 11月3日（日）から12月16日（土）（参加者12名）
- ③多文化共生プログラム研修 12月17日（日）から12月20日（水）（参加者合計60名）

コロナ禍で参加できなかった2、3年生対象に実施した。

シンガポール（参加者21名）・台湾（参加者19名）・韓国（参加者20名）

本学は第2外国語を「英語」・「中国語」の2カ国語とし、これを学ぶプログラムの一つが語学研修である。語学を身に付けるには「留学」が必要不可欠と定義し、（英語圏：フィリッピン、中国語圏：台湾）を計画している。新しく多文化共生プログラムとしてシンガポール、台湾、韓国の3泊4日の研修を計画し実施した。今後新しいプログラムとしてより進化させるつもりである。

(3) 語学ラウンジ教育

- ①E ラウンジ 春期 6回 教員3名、学生12名
 - ②CC ラウンジ 春期 5月8日～7月28日 秋期 9月22日～1月22日 SA 5名 学生数 35名
 - ③J ラウンジ 春期 5月8日～7月28日 秋期 9月22日～1月22日 SA 6名 学生数 20名
- 夏休み・春休み期間中も実施

(4) グローバル教育センター

①学外奨学金取得実績

- 公益財団法人 横山奨学財団 (3名)
- 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会 (1名)
- 公益財団法人 市原国際奨学財団 (1名)
- 公益財団法人 大幸財団 (1名)

②留学生の参加協力

「留学生のお国自慢トークショー」開催 プレゼンテーションに参加留学生 8名
世界の飲み物体験コーナーへ出店（日本茶・中国茶・ベトナムコーヒー・イギリス紅茶）

③羽島市国際交流協会主催「留学生と語ろう」

8月22日 愛知文教大学（201教室） 参加留学生：ミャンマー、中国、ベトナム（各2名）

④交換留学生制度

<日本から提携大学への交換留学生> 秋期より再開した

北京外国語大学（半年間2名）、北京聯合大学（半年間1名・1年間1名）、三江学院（半年間1名・1

年間 1 名)

<提携大学から本学へ交換留学生>

北京外国語大学 2 名、三江学院大学 2 名 (2023 年秋期より 1 年間)

⑤留学制度 (本学に在籍し海外の取得単位を卒業単位とする制度)

ニュージーランド Auckland English Academy (2 名) 3 月～1 月: 1 名、9 月～3 月: 1 名

⑤科目等履修生

4 月期から 1 年間 14 名、9 月期から半年間 1 名

(5) 研究活動 科研費 (2023 年度)

本学教官 3 名が取得 直接経費合計 2,100,000 円 間接経費合計 630,000 円を取得した。

2. 自己点検・評価委員会

外部評価委員会を実施した。2021 年度に大学機関別認証評価 (日本高等教育評価機構) を受審し「適合」を得ている。次回認定評価は 2028 年を計画している。2023 年度は現状評価について外部評価委員会を、2024 年 2 月 6 日に実施した。

外部評価委員: 武市 礼子 (小牧市教育委員会文化財課課長)、山口 哲 (愛知県立春日井東高等学校校長)、平手 悠佳里 (小牧市北里児童館館長)、早川 渡 (愛知文教大学教授)、朴 賢晶 (愛知文教女子短期大学教授)

3. 地域・社会活動 (2023 年度)

(1) 小牧市の要請に基づき各種委員会等に委員として教職員を参加させた。

①小牧市国際交流協会理事・小牧市文化財啓発事業調査研究受託委員会委員 富田健弘

②小牧市市民文化財団理事 (2020 年 4 月 1 日～)・小牧市市民活動促進委員 (2017 年 4 月 1 日～) 小牧市社会教育委員 会長・小牧市生涯学習審議会委員 (兼務)・小牧市公民館運営審議会委員 (兼務)・一般財団法人こまき市民文化財団理事小牧市社会教育委員 (会長) (2019 年 4 月 1 日～)・小牧市教育振興基本計画推進会議委員 (2020 年 4 月 1 日～)・小牧市市民活動促進委員会委員 竹中 烈

③愛知県小牧警察署国際化問題アドバイザー (2016 年 12 月～) 辻 千春

④小牧市立中学校制服検討委員会委員・小牧市通学区審議会委員・こまき少年少女発明クラブ企画運営委員長 永井勝彦

⑤小牧市立図書館協議会委員 (2022 年 7 月 1 日～) 早川 渡

⑥小牧市文化財啓発事業調査研究受託委員会委員 内田吉哉

(2) 小牧市文化財啓発事業調査研究委託報告

小牧市文化財啓発事業調査研究委託業務受託委員会 (2023 年度事務長 宮崎貴光) 2023 年度は 3 回 (6/22, 11/16, 3/7) 開催した。2023 年は 999 万円の研究調査委託費を小牧市から委託した。

①小牧市歴史文化基礎講座 ―小牧と周辺の歴史を学ぶ― 小牧市まなび創造館 (ラピオ 5 階) あさひホール

回	月 日	演 題	講 師	参加者
1	7 月 1 日 (土)	道中記から見た近世尾張の旅	愛西市教育委員会 石田泰弘	65
2	7 月 8 日 (土)	小牧の美術文化財について	名古屋造形大学名誉教授 池田洋子	55
3	7 月 15 日 (土)	小牧城下町上御園遺跡の鍛冶 工房の系譜	愛知県埋蔵文化センター調査 研究専門委員 蔭山誠一	58

②小牧市歴史講座 「信長と家康、そして秀吉と家康」

回	月 日	演 題	講 師	参加者
1	10月29日(日)	桶狭間の戦い	戦国史研究家 和田裕弘	127
2	11月11日(土)	織田信長と徳川家康 ～その関係の実態と展開～	東洋大学文学部非常勤講師 柴裕之	129
3	11月18日(土)	秀吉の台頭と家康 ～織田信雄に着目して～	大東市立歴史民俗資料館 学芸員 西尾大樹	107
4	11月25日(土)	家康、秀吉に臣従する	大阪城天守閣研究主幹 跡部信	115
5	12月 2日(土)	太閤秀吉と家康	京都大学名誉教授 藤井讓治	168

③愛知文教大学「信長学」講座 「南蛮かぶれの信長」

1	2月 3日(土)	信長が聞いた西洋音楽	愛知文教大学非常勤講師 野中亜紀	70
2	2月10日(土)	信長と南蛮の服飾	愛知文教大学准教授 畠山大二郎	57
3	2月17日(土)	ヨーロッパに渡った安土城の 屏風	愛知文教大学准教授 内田吉哉	61

④夏休み子ども向け講座 「子ども古文書寺子屋」

7月29日(土)・8月5日(土)の2回連続講座

講師 酒向道夫 場所 小牧市創垂館 参加者 中学生1名 小学生5名 同伴者3名

⑤古文書講座

基礎講座(前期4回9/9,9/16,9/30,10/7、後期4回11/26,12/3,12/10,12/17)

古文書の基礎を学ぶ 講師 酒向道夫

前期:小牧市まなび創造館((ラピオ5階)研修室 参加差21名

後期:市役所本庁舎3階301会議室 参加差12名

実践講座(4回)

令和6年1/13,1/20,1/27,2/3

講師 小牧市古文書調査会の皆さん 参加者34名

⑥文化財整理

収蔵庫調査整理

「小牧宿400年」関係展示8/17～8/23 小牧宿と木曾街道に関するパネル展示と民具の展示

入場者 686名

⑦小牧市文化財巡り(小牧地区)

11月5日(日) 当日参加者数 15名

⑧小牧の旧道調査事業

今年度は、小牧市内の「一宮道」など小牧と周辺を結んだ道を調査対象とした。ガイドマップでは「4本の道」を取り上げ、映像資料(DVD)は「一宮道」の一つを選んで作成した。

⑨江崎文書資料全編の刊行

⑩「信長文庫」の収集・整理

<定期刊行物5点を収集>

城郭史研究 41号 戦国史研究 85号 86号 職豊期研究 25号 年報中世史研究 48号

<信長文庫にふさわしい出版物>

超新説で読み解く信長・秀吉・家康の真実 跡部 蕃 著 ビジネス社

信長って、どんな人 『信長公記』に見える本当の姿 岡部 雄 著 小学館スクウェア

謙信×信長 乃至政彦 著 PHP 研究所

家康の選択 小牧・長久手 鈴木輝一郎著 毎日新聞出版

信長の正体 本郷和人 著 文春文庫

城に学ぶ 東海学センター編 名古屋 風媒社

長篠合戦 鉄砲隊の虚像と実像 金子拓 著 中公新書

浅井長政と姉川合戦 増補版 その繁栄と滅亡への軌跡太田浩司 著 サンライズ出版

信長の謀計 桶狭間合戦の真相 太田輝夫 著 文芸社

4. 教職課程受講者

(1) 小牧市学習チューター制度へ協力(小中学校の学習支援を実施)

桃ヶ丘小学校2名41回、篠岡小学校3名30回、大成小学校1名8回、桃陵中学校1名7回 合計86回
実施した。

<小学校体験活動>小牧市立桃ヶ丘小学校 4名 8回、牧市立篠岡小学校 3名 6回
小牧市立光ヶ丘小学校 3名 6回、小牧市立大城小学校 3名 6回

(2) 文教子どもフェスタ in 小牧

11月10日(金)午後4時半～午後6時10分 近隣の小中学生保護者 参加合計 130名

(3) 星槎大学 通信教育受講者 4名

(4) 教員採用試験受験者の動向 「国語」

永平寺にて僧になるための修行、名古屋市立若宮高等学校 常勤講師、中部大学 大学院進学、
名古屋市立守山中学校 非常勤講師、長野県 伊那北高等学校 常勤講師

5. 高大連携

令和5年度現在、16校の高等学校と提携協定を締結している。

①啓明学館高等学校、②愛知啓成高等学校、③愛知県立春日井商業高等学校、④大成高等学校、⑤愛知県立愛知商業高等学校、⑥愛知県立南陽高等学校、⑦高松学園伊那西高等学校、⑧愛知県立中川商業高等学校、⑨愛知県立一宮商業高等学校、⑩名古屋市立名古屋商業高等学校、⑪愛知県立岡崎商業高等学校、⑫愛知県立半田商業高等学校、⑬愛知県立瀬戸北総合高等学校、⑭愛知県立津島北高等学校、⑮愛知県立犬山南高等学校、⑯愛知県立春日井東高等学校

6. 学び合う学び研究所 セミナー事業報告書

愛知県内11の教育委員会に後援申請を行い、広く参加者を募った。(愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・小牧市教育委員会・春日井市教育委員会・岩倉市教育委員会・犬山市教育委員会・豊明市教育委員会・北名古屋市教育委員会・豊山町教育委員会・清須市教育委員会・江南市教育委員会)それによって、小牧市外からの参加者が増加した。

2023年度	セミナー内容	参加者	継続講座	参加者
4月22日(土)	名古屋大学 柴田好章先生 「子どもの学びをどうとらえるか?~ 授業記録による授業分析の方法~」について考える	29	4月15日(土)授業づくり講座1 学び研究所フェロー 木村 芳博先生 授業づくりの「土台」について考ながら、基礎基本の共有から学ぶ	10
5月27日(土)	研究所フェロー倉知雪春先生 「全員が主体的に学びに向かう学校づくり・授業づくり」をテーマに「みよし市立三好丘中学校」の授業実践や学校づくりに学ぶ	29	5月20日(土)授業づくり講座2 研究所フェロー 木村芳博先生 ギアを上げて、「授業づくりの『道標』は何だろうか」というジャンプ課題について探究し、実践力を高める学び	7
6月10日(土)	名古屋大学 埜寄志保先生 伊倉 剛先生 伊倉先生の社会科の授業記録をとおして「問題解決学習の実践から考える主体的な学び」をテーマとして、子どもの主体的な学びについて学ぶ	26		
7月8日(土)	研究所フェロー神戸和敏先生 「学び合う学び:学習指導要領:GIGAスクール構想」をテーマとして、「学び合う学び」:「学習指導要領」:「GIGAスクール構想」の関係について考え、ICT機器を活用した学校づくりを創造する	14		
8月20日(日)	的場正美先生シニアフェロー就任記念 シンポジウム 「世界から見た日本の教育」をテーマとして、草薨先生とアラニ先生を招聘し、世界は日本の教育をどう見ているか。日本の授業研究の文化が注目を集めている現在と未来を考える	36	8月19日(土) 図工授業実践から学ぶ 研究所フェロー 永井 勝彦 「オリジナル鳥獣戯画に挑戦」と「絵具遊びから造形活動」墨の調墨やモダンテクニックを活用した表現に挑戦し造形表現を学ぶ	7
9月9日(土)	愛知東邦大学丹下悠史先生 「道徳授業における子どもの学びを捉える」をテーマとして、道徳教育における教師の洞察力について学ぶ	講師都合により中止		
10月28日(土)	愛知文教大学准教授佐藤良太先生 「夏目漱石『坊っちゃん』一明治の教育雑誌から読む〈学校〉」をテーマとし、学校騒動の視点から読み、学び合う。	8	10月28日(土) 論文の書き方講座1 研究所フェロー 中島 淑子先生 「身近な問題から始める教育実践論文の書き方」をテーマとして、実践論文の意味を考え学ぶ	3
11月18日(土)	研究所フェロー 栗木 智美先生 「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けての第一歩を ~学びの作法と教材研究の体験を通して一緒に考える	21		
12月9日(土)	愛知文教大学准教授 畠山大二郎先生 「教科書の中の平安文化を捉え直すー古文・絵巻・装束ー」をテーマとして、小中学校の教科書(国語科・社会科)に掲載されている古文や、絵巻物、装束について考える	13		

1月20日(土)	研究所フェロー 後藤 孝文先生 「学び合う学びをヒドゥン・カリキュラムの視点で深める」をテーマとして、令和3年度セミナーで提案した「ヒドゥン・カリキュラムと学び合う学び」の続編として学ぶ	16		
2月17日(土)	研究所シニアフェロー 副島孝先生 「知識はどう伝わるのか？-授業のための社会構成主義-」をテーマとして、一問一答式の一斉授業からなかなか脱却できない原因のひとつである知識についての捉え方を考える	13	2月10日(土) 特別新教育に関する講座1 3月9日(土) 特別新教育に関する講座2 学び研究所フェロー 中川 行弘先生 「通常学級における特別の支援が必要な子どもへの教育支援」をテーマとして、通常学級における特別の支援が必要な子どもへの教育支援について、ともに学び合い	9
3月16日(土)	研究所フェロー 林 文通先生 「学びを楽しむ授業づくり・学校づくり2」をテーマとして、林先生がかかわっている学校の授業実践や学校づくりの発表から学ぶ	16		4
	合計	221	合計	40

以上

(2) 令和5年度 愛知文教女子短期大学事業報告書

1. 施設・設備改修計画及び実施

- (1) I号館・III号館エレベーター改修工事 (32,780,000円)
- (2) I号館1階事務局改修工事 (12,100,000円+什器2,237,400円)
改修工事には、愛知文教女子短期大学創立70周年記念寄付金を費用の一部として充当。
※寄付金総額(2023年3月末)3,164,000円
- (3) クラブハウス水道メーター移設工事 (589,600円)
テニスコート売却に伴う水道メーターの移設工事を実施
- (4) 消防設備の修繕 (429,630円)
消防設備点検における不良箇所の修繕(火災感知器、消火器の取替)
- (5) 文教おやこ園LED化更新工事 (295,900円) ※稲沢市委託金より
- (6) II号館1階パウダールーム自動水栓更新工事 (275,000円)
- (7) II号館1階文教レストラントイレ内洗浄便座更新工事 (151,800円)
- (8) II号館1階文教レストラン内電気工事 (74,800円)
- (9) II号館1階和室空調更新工事 (878,350円)
※卒業謝恩金会計より
- (10) II号館3階トイレ天井漏水補修工事 (143,000円)

<寮>

- (1) 第2寮改修工事 (990,000円)
- (2) 第2寮PCB検査によるコンデンサー取替工事 (22,990円)
PCB含有検査対象物に伴う検査及びコンデンサー取替工事を実施。

2. 地域連携センター

- (1) 令和5年度「稲沢市子育てセミナーA」 約10名
- (2) 保育のおしごと体験イベント 約20名
- (3) 令和5年度「のびのびセミナー」
 - ①コミュニケーション力を育むおもちゃ遊び 32組
 - ②親子でつくってあそぼう 13組
 - ③親子で楽しむ音楽あそび 33組
- (4) 図書館ボランティア「絵本の読み聞かせ」
- (5) 消防署ボランティア
- (6) 公園整備に関するワークショップ
- (7) 親子でエコ料理教室 親子14組
- (8) ふれあい演奏会 約700名
- (9) 荻須記念美術館 大学パートナーシップ事業 105名
- (10) 稲沢中学校「地域交流会」 参加人数40名
- (11) あおぞらパークボランティア
- (12) 稲沢イルミネーション
- (13) 絵本とサンドアートのコンサート 約50人

3. 足立学園総合研究所「生涯学習講座」

- (1) 楽しい茶道 前期4名(80%)・後期8名(160%) 全12回
- (2) 季節を彩る染色 基礎コース 前期5名(100%)・後期2名(40%) 全21回

- (3) 暮らしを楽しむ染色 応用コース 前期7名(140%)・後期7名(140%) 21回
 (4) 心で読む朗読 前期 18名(144%)・後期 16名(128%) 全6回
 (5) 心も身体にもやさしいヨガ 前期 23名(184%) 全3回
 (6) サマーカレッジ親子講座 2023 清須 5名(20%)・稲沢 20名(100%)
 (7) 潜在保育士再就職セミナー 22名 全1回
 (8) ピアノコンサート 夏 32名 冬 20名
 (9) ぱりまる販売推進事業

SDGs 企画で販売促進、新商品ちょこまるの開発 (2回実施)

(10) 季節を届ける

- ①7/3 セタイイベント(童謡歌い高齢者と交流)実施
 ②プラントベースの商品開発プロジェクト “名鉄商店での販売”
 ③株式会社ユーグレナ自販機での販売
 ④おからクランチグラノーラの開発”
 ⑤稲沢の盆踊り！ みんなで輪になって踊ろう
 8月2日 8名(13.36%)、8月3日 11名(18.37%) 全2回
 ⑥ミニ盆栽ワークショップ 11月 21名
 ⑦夏期公開講座 10名

4. 文教おやこ園

(1) 開催日数及び延べ人数(名)

開催月	開催日数		利用者			学生参加							
	通常開催	OC	総人数	保護者	子ども	自主実習	授業	補講	課題	見学	公務員 対策講座	委員会	
4月	18	2	388	186	202	29	163	0	0	0	0	6	6
5月	19	1	376	181	195	21	148	0	1	1	1	5	4
6月	21	1	437	216	221	7	84	0	0	0	0	3	3
7月	18	2	430	211	219	11	186	16	0	4	0	5	0
8月	18	2	415	208	207	1	0	2	0	0	0	0	0
9月	19	1	464	224	240	5	0	0	0	0	0	0	0
10月	21	0	458	228	230	5	115	0	0	4	0	0	2
11月	20	0	466	223	243	5	91	0	0	0	0	0	2
12月	17	0	543	266	277	0	184	3	0	4	0	0	0
1月	18	0	406	196	210	3	0	6	0	0	0	0	0
2月	18	0	506	234	240	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	18	2	481	225	234	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	225	11	5370	2598	2718	87	971	28	1	13	19	17	

(2) 授業での活用

- ①子ども家庭支援論 教科担当：裨宜
 ②音楽表現指導法 教科担当：国藤・玉田
 ③生活文化総合演習 教科担当：赤塚
 ④乳児保育Ⅰ 教科担当：赤塚
 ⑤乳児保育Ⅱ 教科担当：赤塚
 ⑥子育て支援 教科担当：赤塚
 ⑦キャリアチャレンジ 教科担当：赤塚

(3) 高校生の体験授業

- ①愛知啓成高校 6月5日 12名
 ②愛知啓成高校 6月14日 14名
 ③愛知県立一宮商業高校 6月28日 17名
 ④愛知県立杏和高校 12月22日 26名

⑤オープンキャンパス 11回

(4) おやこ園委員会 (活動内容や行事について、保護者と学生が意見を出し合いながら交流する会)

開催日 : 5月31日(水) 6月27日(火) 7月21日(金) 8月8日(火)
9月22日(金) 10月26日(木) 11月17日(金) 12月22日(金)
1月15日(月) 2月19日(月) 3月18日(月)

計 11 回開催

利用者委員 : 5 名 学生委員 : 10 名

(5) 教員による子育て講座

開催日 担当教員 テーマ

5月17日(水) 西澤 元気なからだづくり～カンガルンバを踊ろう～

6月5日(月) 五十嵐 おとなも子どもも大好き～谷川俊太郎の絵本の世界～

6月23日(金) 朴 子どもとタバコ

7月6日(木) 伊藤 サンドアートの世界を楽しもう

9月5日(火) 星野 ぶんきょう幼稚園園長先生のお話

9月23日(土) 赤塚 おもちゃの効果と選び方

10月18日(水) 加藤 オノマトペを楽しもう

12月18日(金) 国藤・玉田 みんなのクリスマスコンサート

1月10日(水) 山崎 英語で絵本の読み聞かせ

3月18日(月) 赤塚 おやこ園のおもちゃの話利用者(パパ・ママ講師)による講座

(6) 利用者(パパ・ママ講師)による講座

開催日 テーマ 講座内容

7月12日(水) スケッチブックシアター おやこ園利用ママによるスケッチブックを用いたシアターの実演

9月20日(水) ダイエットの真実に迫れ! おやこ園利用パパによる身体づくりの講座

1月23日(火) ママによる絵本の読み聞かせ おやこ園利用ママによるのおすすめ絵本の読み聞かせ

(7) その他講座(江崎グリコ 管理栄養士による講座)

開催日 テーマ 講座内容

8月7日(月) 離乳食講座 0歳児を対象とした離乳食講座

11月17日(金) 赤ちゃんの健やかな成長のための睡眠教室 よい睡眠についての講座

12月4日(月) カンタン&おいしい幼児食レシピ講座 デモンストラーションでの幼児食講座

(8) インスタグラム投稿

74回(活動報告、お知らせ、園だより 他) *内3回はインスタライブ配信

(9) その他

学生アイドル化計画(歌のお姉さん・ダンスのお姉さんの育成) 指導

(10) 稲沢市からの委託金

令和4年度 2,500,000円→令和5年度 4,300,000円

5. 生活文化学科活動報告

(1) みんないっしょのクリスマス2023(連続21年継続事業)

令和5年12月9日開催 募集10組、参加8組 37名参加

(2) 食物栄養専攻

①食育講座「めざせ!ちびっこシェフ」(連続20年継続事業)

6月24日 参加人数:25名、11月25日 参加人数:18名

②おいしい笑顔!野菜レシピコンテスト(連続16年継続事業)

応募総数 577 点（中学生部門 200 点、高校生部門 377 点）11 月 11 日にオープンキャンパスにて表彰式挙行。

（3）生活文化専攻

①高齢者福祉施設における七夕茶会の開催

社会福祉法人信竜会の高齢者福祉施設を学生が浴衣姿で訪問

②稲沢市、近隣自治体、地域産業との協働プログラムの推進

名鉄商店 SDGs フェアにて「ことちゃんとうふアイス」の販売

愛知文教女子短期大学と包括連携を結んでいる（株式会社名古屋食糧、株式会社おとうふ工房いしかわ、太田油脂株式会社）と協働で開発・製品化した商品を名鉄商店にて販売

③稲沢市民病院祭りボランティア参加

④江南市制 70 周年記念ユニフォームのデザイン制作を担当

市制 70 周年記念として、市職員が着用するポロシャツと、市民向け T シャツのデザインを担当

⑤稲沢市役所まちづくり部都市整備課との官学連携プロジェクトとして、稲沢公園の再整備計画に参画

6. 幼児教育学科の事業報告

（1）第 14 回文教子どもフェスタ」開催

7 月 15 日（土）に実施した。コロナ明けということもあり、文教おやこ園利用者 50 組限定で実施した。参加したのは、55 組（総参加者数 156 名）であった。

（2）ステップアップ講座を 2023 年 8 月 9 日（水）に実施した。

5 講座を設け、20 名の学生が参加した。

（3）稲沢市主催のふれ愛音楽祭に参加した。2023 年 11 月 18 日（土）に稲沢市市民会館大ホールで開催され、本学では 1 部 2 年学生によるマーチング演奏、3 部 3 年学生によるオペレッタ、上記学生によるリズム遊び、手遊びを披露した。教員としては、山本先生、国藤先生、玉田先生が演奏者として出席した。

（4）「NZ 短期海外保育研修」の実施

子育て先進国といわれるニュージーランドにて 2024 年 3 月 7 日（木）～3 月 22 日（金）学生 16 名が参加

（5）韓国研修を実施した。2024 年 3 月 4 日（月）～3 月 7 日（木）19 名の学生が参加

（6）稲沢市主催の「のびのびセミナー2023」に 3 名の教員が講師を務めた。

（7）「教職員と学内交流会 2023」を実施した。5 月に実施した「文教レストランで学内交流会」を皮切りに、「お正月あそび」まで 9 つの学内交流会を実施した。

（8）学生ボランティア活動：稲沢市との連携による活動としては、稲沢市消防署 4 名（消防活動の PR）、稲沢市中央図書館 2 名（10 月 29 日（日）、利用者向け読み聞かせ）、祖父江の森図書館 1 名（11 月 25 日（土）利用者向け読み聞かせ）のボランティア活動を行った。

（9）社会福祉協議会からの依頼により、高校生 2 名が文教おやこ園でボランティア活動を行った。

以 上

3. 財務の概要

(1) 資金収支計算書の推移

(単位:千円)

科 目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,129,302	987,632	784,886
	手数料収入	15,240	11,909	11,328
	寄付金収入	22,854	12,434	18,278
	補助金収入	330,025	305,376	257,404
	資産売却収入	300,222	504,893	183,516
	付随事業・収益事業収入	103,256	96,276	98,901
	受取利息・配当金収入	14,921	15,416	16,266
	雑収入	96,066	90,618	83,837
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	355,365	276,540	216,178
	その他の収入	397,057	731,676	500,156
	資金収入調整勘定	△ 435,802	△ 395,441	△ 318,565
	前年度繰越支払資金	1,133,356	1,001,514	817,251
	合 計	3,461,862	3,638,843	2,669,436
支出の部	人件費支出	909,443	892,718	801,910
	教育研究経費支出	295,419	347,303	319,939
	管理経費支出	351,088	298,132	295,213
	借入金等利息支出	11	8	5
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	8,894	45,782	44,574
	設備関係支出	71,042	60,429	24,791
	資産運用支出	450,000	550,000	150,000
	その他の支出	454,025	730,826	323,966
	資金支出調整勘定	△ 79,574	△ 103,606	△ 83,083
	翌年度繰越支払資金	1,001,514	817,251	792,121
	合 計	3,461,862	3,638,843	2,669,436

(2) 活動区分資金収支計算書の推移

(単位:千円)

項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
による教育活動 資金収支	教育活動による資金収入計	1,680,044	1,499,431	1,252,124
	教育活動による資金支出計	1,555,950	1,537,686	1,417,062
	差引	124,094	△ 38,255	△ 164,938
	調整勘定等	△ 51,449	△ 77,558	△ 76,767
	教育活動資金収支差額	72,645	△ 115,813	△ 241,705
に施設整備等 資金収支活動	施設設備等活動資金収入計	11,454	4,863	136,029
	施設設備等活動資金支出計	79,936	106,212	69,365
	差引	△ 68,482	△ 101,349	66,664
	調整勘定等	17,631	9,352	△ 883
	施設設備等活動資金収支差額	△ 50,851	△ 91,997	65,781
小計(教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額)		21,794	△ 207,810	△ 175,924
によるその他の活動 資金収支	その他活動資金収入計	651,820	1,222,055	526,342
	その他活動資金支出計	805,456	1,198,508	375,548
	差引	△ 153,636	23,547	150,794
	調整勘定等	0	0	0
	その他活動資金収支差額	△ 153,636	23,547	150,794
支払資金の増減額		△ 131,842	△ 184,263	△ 25,130
前年度繰越支払資金		1,133,356	1,001,514	817,251
翌年度繰越支払資金		1,001,514	817,251	792,121

(3) 事業活動収支計算書の推移

(単位:千円)

科目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,129,302	987,632	784,886
		手数料	15,240	11,909	11,328
		寄付金	14,044	13,457	18,035
		経常費等補助金	328,756	301,050	255,654
		国庫補助金	208,566	168,085	117,246
		地方公共団体補助金	120,190	132,965	138,008
		若手・女性研究者奨励金	0	0	400
		付随事業収入	103,256	96,276	98,901
		雑収入	107,574	90,618	83,837
		教育活動収入計	1,698,172	1,500,942	1,252,641
	事業活動支出の部	人件費	911,389	889,403	807,236
		教育研究経費	459,976	511,929	487,974
		管理経費	373,820	321,849	320,755
		徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	1,745,185	1,723,181	1,615,965		
教育活動収支差額	△ 47,013	△ 222,239	△ 363,324		
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	14,921	15,416	16,266
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	14,921	15,416	16,266
	事業活動支出の部	借入金等利息	11	8	5
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	11	8	5
教育活動外収支差額	14,910	15,408	16,261		
経常収支差額	△ 32,103	△ 206,831	△ 347,063		
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	78	4,848	119,797
		その他の特別収入	18,700	11,940	5,726
		特別収入計	18,778	16,788	125,523
	事業活動支出の部	資産処分差額	6,838	21,041	21,526
		その他の特別支出	0	467	0
		特別支出計	6,838	21,508	21,526
特別収支差額	11,940	△ 4,720	103,997		
基本金組入前当年度収支差額	△ 20,163	△ 211,551	△ 243,066		
基本金組入額合計	△ 26,000	△ 23,379	0		
当年度収支差額	△ 46,163	△ 234,930	△ 243,066		
前年度繰越収支差額	△ 4,416,272	△ 3,937,794	△ 4,172,724		
基本金取崩額	524,641	0	64,022		
翌年度繰越収支差額	△ 3,937,794	△ 4,172,724	△ 4,351,768		
(参考)					
事業活動収入計	1,731,871	1,533,146	1,394,430		
事業活動支出計	1,752,034	1,744,697	1,637,496		

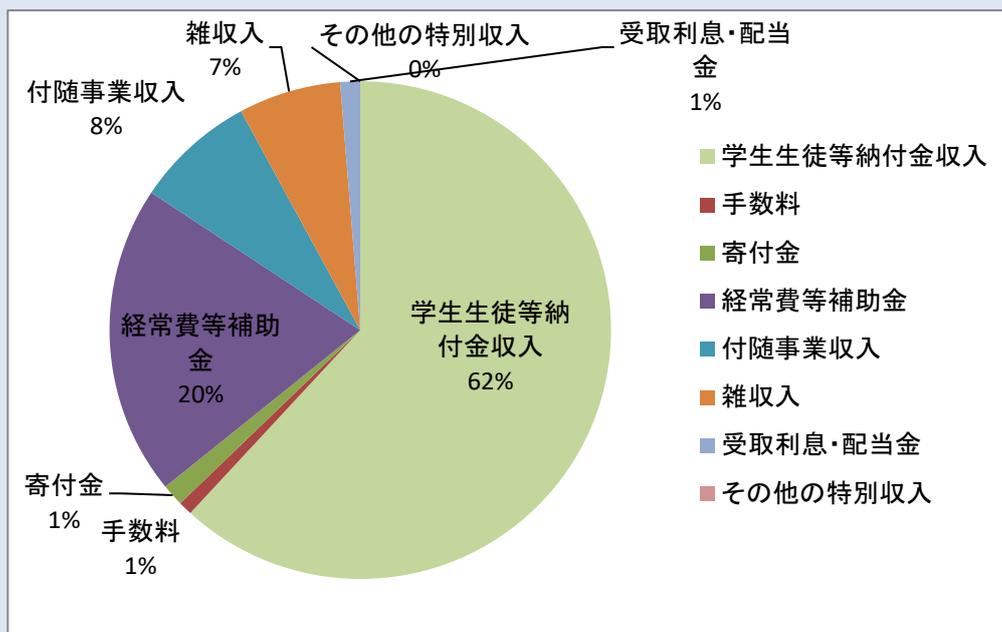
(4) 貸借対照表の推移

(単位:千円)

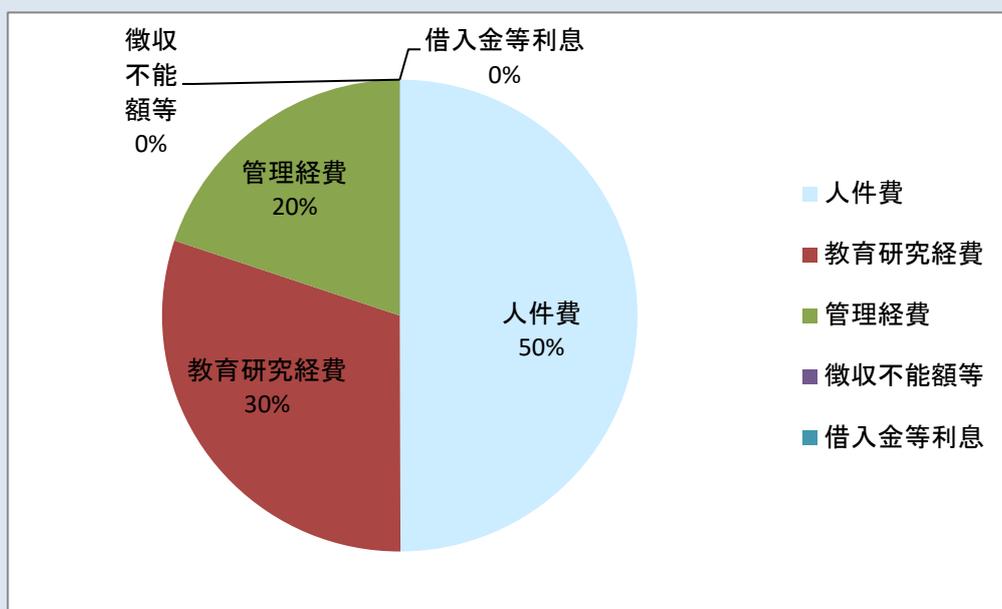
資 産 の 部			
科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
固 定 資 産	8,657,884	8,661,266	8,366,263
有形固定資産	7,827,028	7,721,699	7,536,961
特定資産	50,000	150,000	60,000
その他の固定資産	780,856	789,567	769,301
流 動 資 産	1,135,921	864,457	837,938
合 計	9,793,805	9,525,723	9,204,201
負 債 の 部			
科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
固 定 負 債	366,196	365,412	360,714
流 動 負 債	452,807	397,059	323,302
合 計	819,003	762,471	684,016
純 資 産 の 部			
基 本 金	12,912,596	12,935,976	12,871,953
繰越収支差額	△ 3,937,794	△ 4,172,724	△ 4,351,768
純資産の部合計	8,974,802	8,763,252	8,520,185
負債及び純資産の部合計	9,793,805	9,525,723	9,204,201

(5) 令和5年度 事業活動収入及び支出の構成比

《事業活動収入の構成比率》



《事業活動支出の構成比率》



(6) 主な財務比率の推移

事業活動収支計算書関係比率

比率名	算式(×100)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費比率	人件費/経常収入	53.2%	58.7%	63.6%
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	80.7%	90.1%	102.8%
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	26.9%	33.8%	38.5%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	65.9%	65.1%	61.9%
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額/教育活動収入計	-2.8%	-14.8%	-29.0%
補助金比率	補助金/経常収入	19.1%	19.9%	18.5%

経常収入=教育活動収入計+教育活動外収入計

貸借対照表関係比率

比率名	算式(×100)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
純資産構成比率	純資産/(負債+純資産)	91.6%	92.0%	92.6%
流動資産構成比率	流動資産/総資産	11.6%	9.1%	9.1%
流動比率	流動資産/流動負債	250.9%	217.7%	259.2%
総負債比率	総負債/総資産	8.4%	8.0%	7.4%

(7) 財務諸表の説明

学校法人は「学校法人会計基準」に則して会計処理を行い、決算時には会計処理結果を表す、財務計算に関する書類「計算書類」を作成しなければなりません。

学校法人会計基準の一部改正に伴い、平成27年度以降の会計年度より学校法人が作成しなければならない計算書類は下記のとおり変更がありました。

資金収支計算書には新たに活動区分資金収支計算書が加わりました。

消費収支計算書は名称が事業活動収支計算書に変更され、様式も大きく変更されました。

貸借対照表はその他の固定資産に含まれていた引当特定資産を特定資産として分離し、固定資産は有形固定資産、特定資産、その他の固定資産に区分される。また、従来の基本金の部、消費収支差額を合わせて純資産の部となりました。

資金収支計算書	当該会計年度の学校の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及び預貯金)の顛末を表すもの
	収入には学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産売却、前受金等が計上され、支出では、人件費、教育研究経費、管理経費、施設関係等が計上
	資金収支計算書を活動区分(教育活動による資金収支、施設整備等活動による資金収支、その他の活動による資金収支)ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにするもの
	当該会計年度の事業活動ごとの成果を明らかにするために、収支を経常的な収支と臨時的な収支とに区分するもの
事業活動収支計算書	経常的な収支とは、本業の教育研究活動における経常的な収支を示す教育活動収支と受取利息・配当金や借入金等利息等の財務的な活動として教育外収支とに分ける
	臨時的な収支は、特別収支として資産売却差額、資産処分差額等の臨時的に発生した収支を示す

(8) 企業会計との比較

企業は業績を伸ばし利益を獲得することが目的なのに対して、学校法人は公共性の高い教育を提供し社会に貢献できる人材の育成を目的としています。具体的には、企業会計においては、損益計算書で純利益がいくらになっているかを明確にすることが必要なのに対して、学校法人会計においては、その事業活動収支計算書で教育を継続し得る資産の保有を前提として、いかに均衡が取れた収支を維持できるかということを明確にすることが求められています。

	企業	学校
損益を表すもの	損益計算書	事業活動収支計算書
資金の動きを表すもの	キャッシュフロー計算書	資金収支計算書 活動区分資金収支計算書